



2021 年 4 月

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

オーナー問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーション センター

広報資料

(ドイツ本国発表資料)

Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron : コンパクトな電動オールラウンダー

要約版 Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron に関する主な情報	2
仕様とスペック 製品ハイライト	6

* 本資料に記載されている装備、データ、価格はいずれもドイツ仕様に基づく記述です。

日本仕様では装備や充電に関して異なる場合があります。

* 日本仕様・価格は未定です。

* 電力消費量及び CO2 排出量の値は、選択された装備によって異なります。

* 内容は予告なく変更されることがあります。



要約版

Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron : 優れた効率とエモーショナルな魅力を備えた電気自動車

日常ユースに適した様々な用途に対応するオールラウンダー。先進的なデザインコンセプトを市販モデルへと具現し、ゼロエミッションによる走行を実現：Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron は、アウディブランドがコンパクトセグメントに初めて導入する電気自動車です。両モデルともに、広々とした室内に加え、操作系、ディスプレイ、アシストシステムには先進的なソリューションを採用しています。拡張現実ヘッドアップディスプレイは、まったく新しい方法で仮想世界と現実世界を繋ぎます。

モデルラインナップは、2種類のバッテリー容量と3種類の駆動バージョンが用意されています。Q4 35 e-tron は、正味エネルギー容量 52kWh（総容量 55kWh）のコンパクトなバッテリーを搭載する一方で、Q4 40 e-tron は、正味エネルギー容量 77kWh（総容量 82kWh）の大容量バッテリーを搭載しています。最上位のモデルは quattro 4輪駆動システムを搭載して、220kW（299PS）の最高出力を発生します。全モデルともに長い航続距離を誇り、理想的な条件下において、わずか約10分の充電で約130km（WLTP）を走行することが可能です。e-tron 充電サービスを利用すれば充電も簡単です。後輪駆動の Q4 40 e-tron は、WLTP サイクルで、最大 520km の航続距離を達成しています。このニューモデルは、2021年6月にヨーロッパで発売されます。ドイツにおけるベース価格は41,900ユーロで、お客様は9,000ユーロの補助金を受け取ることができます。

アウディの次のステップ：エクステリアデザイン

Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron は、アウディによる電気自動車のデザイン言語を、次のステップへと進化させています。このコンパクト SUV は、2019年初頭に発表されたショーモデル、Audi Q4 concept および Audi Q4 Sportback e-tron concept のデザインを、市販モデルへと移植しています。短いフロントオーバーハング、大径ホイール、アスリートを連想させる筋肉質なボディにより、表現力豊かなプロポーションを創出しています。すべてのラインは最高の精度で描かれ、クリアな表面処理は一切の装飾を排しています。クーペスタイルの低いルーフラインを備えた Audi Q4 Sportback e-tron は、リヤエンドが特に印象的です。ここでは、テールゲートと一体化された立体的なスポイラーが、リヤウィンドーを2つに分割しています。先進的なデザインは、アウディならではのもので、優れた機能とエアロダイナミクスを融合しています。Q4 e-tron の Cd 値（空気抵抗係数）は0.28、Sportback は0.26です。

このコンパクトな電動 SUV には、オプションでマトリクス LED ヘッドライトを装備することが可能です。このヘッドライトは、他の道路ユーザーを幻惑することなく、路面を明るく照らし出します。デジタルライトシグネチャーは世界初の機能です。ドライバーは、MMI タッチオペレーションシステムを操作して、4種類のライトシグネチャーを切り替えることができます。リヤエンドでは、ライトストリップが左右のテールライトを接続しています。ボディカラーは、新色のメタリックシェード オーロラバイオレットを含む8種類のカラーが設定されています。ベーシックバージョンに加えて、アドバンストおよび S ラインエクステリアを選択可能です。



あらゆる用途あらゆるユーザーのための電気自動車：さまざまなシーンで利用可能な e モビリティ
その優れた多用途性により、Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron は、あらゆる状況で完璧なパートナーとなります。全長は 4.59m で、乗員に広々とした新しいスペースを提供し、既存のクラスの常識を超えるパッケージを提供します。そのインテリアスペースは、フルサイズ SUV クラスに匹敵します。また、センタートンネルも存在しません。広々とした室内空間は、フロントシートだけに留まりません。リヤシート乗員には、電気自動車の技術プラットフォームの利点を活かし、ゆったりとした足元スペースを提供します。さらに、約 25 リットルの豊富な収納スペースも用意されています。そのハイライトは、ドアの上部に一体化されたボトルホルダーです。このホルダーは、1ℓ のボトルでも安全に収納することが可能で、乗員の手が届く理想的な場所に配置されています。

ラゲッジコンパートメントは、一般的なコンパクトクラスのクルマを凌ぎ、中型クラスと同等のスペースを提供します。リヤシートバックの位置にもよりますが、Q4 e-tron のラゲッジコンパートメント容量は 520~1,490ℓ で、Sportback は 535~1,460ℓ です。どちらのモデルも、最大 1 トン（ブレーキ付き、最大勾配 12%）のトレーラーを牽引可能です。quattro バージョンの最大牽引能力は 1.2 トンです。

日常ユースにおけるもう 1 つの強みは、優れた航続距離です。Audi Q4 40 e-tron（NEDC 複合サイクルにおける電力消費量：17.3~16.3kWh/100km、CO₂ 排出量：0g/km）は、1 回の充電で最大 520km を走行可能です。最大出力 125kW の充電に対応することで、理想的な条件では、わずか 10 分の充電で約 130km（WLTP）を走行することが可能です。myAudi app を使用すると、スマートフォンを使用して自宅に居ながらにして充電を開始し、走行前に車内の空調をコントロールすることが可能です。

新しい時代の新しいアイデア：インテリアと操作系

Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron のインテリアは、広々とした開放感に溢れています。インストルメントパネルは、ドライバーに向かって少し角度が付けられ、独立したエリアに分割されて、デザイン要素にもなっている 2 つのディスプレイを統合しています。助手席側のトリムパネルには、オプションで、リサイクル素材を一定の割合で含む革新的なテクニカルファブリックを装着することもできます。これは、市場導入後の早い段階で選択可能になります。水平方向に伸びるセンターパネルには、ギアを選択するためのシフターが設置されています。スポーティな S ラインインテリアには、リサイクルポリエステルを高い比率で含むシート地が用意されています。各シートには、1.5ℓ ペットボトル約 26 本分のリサイクル素材が使用されています。また、新設計のステアリングホイールには、ドライバーがデジタルインストルメントクラスターを操作するために使用するタッチパネルが組み込まれています。インフォテインメントとナビゲーションは、主にダッシュボード中央に配置された MMI タッチディスプレイを使用して操作します。年末までには、11.6 インチの大型ディスプレイも選択可能になります。3 番目の操作インターフェイスは、日常会話に対応したボイスコントロールです。

Audi Q4 e-tron と Q4 Sportback e-tron には、オプションで、革新的な拡張現実ヘッドアップディスプレイを装備することができます。このディスプレイは、一部のアシストシステムとナビゲーションシンボルから構成される情報を、ドライバーが見やすいように実際の視界に重ね合わせて表示します。これらの情報は、ドライバーから約 10 メートル以上離れた仮想のフローティング画像として、広い視野内に動的に表示され、きわめて魅力的な効果を生み出します。



フルデジタル：e モビリティのデバイスとしての Q4 e-tron

Audi Q4 e-tron は、完全にデジタル化されたユーザー体験を提供します。この電動コンパクト SUV のインフォテインメントパッケージは、MMI、MMI plus、MMI pro の3つのレベルから構成され、拡張現実ヘッドアップディスプレイやオーディオバーチャルコックピットプラスなど、構成レベルに応じてさまざまな機能を提供します。また、オプションで、公共充電ステーションの近くを通る最適なルートを提案するインテリジェントな e-tron ルートプランナーを含む、Audi connect オンラインサービスも提供します。プレミアムサウンドについては、ライフスタイル、テクノロジー、デザインを新次元で組み合わせた Sonos (ソノス) サウンドシステムという新たな選択肢が加わりました。

通勤および長距離ドライブに対応：バッテリー、駆動システム、充電オプション

この 2 台のコンパクトな電動モデルの駆動ポートフォリオは、都市部の通勤や長距離ドライブに至るまで、まったく異なる顧客グループのニーズに応えます。ポートフォリオには、2 種類のバッテリー容量と 3 種類の駆動バージョンが用意されています。Q4 35 e-tron (NEDC 複合サイクルにおける電力消費量：16.7~15.8kWh/100km、CO₂ 排出量：0g/km) は、正味エネルギー容量 52kWh (総容量 55kWh) のコンパクトなバッテリーを搭載する一方で、Q4 40 e-tron (NEDC 複合サイクルにおける電力消費量：17.3~16.3kWh/100km、CO₂ 排出量：0g/km) および Q4 50 e-tron quattro (NEDC 複合サイクルにおける電力消費量：17.8~16.5kWh/100km、CO₂ 排出量：0g/km) は、正味エネルギー容量 77kWh (総容量 82kWh) の大容量バッテリーを搭載しています。

Q4 35 e-tron は最高出力 125kW (170PS) の電気モーターを 1 基、Q4 40 e-tron は最高出力 150kW (204PS) の電気モーターを 1 基搭載し、ともに後輪駆動です。最上位バージョンの Q4 50 e-tron quattro は、2 基の電気モーターによる、電動 4 輪駆動システムを搭載しています。最高出力は 220kW (299PS) で、0~100km/h 加速は 6.2 秒、最高速度は 180km/h (リミッター作動) です。効率を高めるために、フロントアクスルのモーターは、高出力または強力なグリップが必要な場合にのみ作動します。エネルギー削減におけるもう一つの重要な要素は、ナビゲーションおよび地形のデータを考慮した、インテリジェントな回生機能です。

オプションのヒートポンプは、高電圧モジュールからの廃熱と周囲の空気を使用して、インテリアの温度を制御します。これは、特に長距離ドライブにおいて、効率の向上にさらなる貢献を果たします。

オーディオの新しい電動 SUV モデルは、バッテリー容量に応じて、交流 (AC) もしくは直流 (DC) で充電することができます。コンパクトなバッテリー(52kW)は、最大 7.4kW の AC 充電および最大 100kW の直流急速充電 (HPC) に対応しています。大容量バッテリー(77kW)は、最大 11kW の AC 充電および最大 125kW の急速充電に対応しています。

Audi e-tron 充電サービスは、ヨーロッパ 26 か国の約 21 万カ所の公共充電ステーションで利用可能です。そのうちの 4,400 カ所は急速充電ステーションで (2021 年 4 月現在)、1 枚の充電カードさえあれば簡単に充電することができます。

インテリジェントなコネクティビティ：サスペンションとドライバーアシストシステム

Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron の高電圧バッテリーは前後アクスル間に搭載され、



低い重心とバランスの取れた重量配分を実現しています。駆動システムとサスペンションの制御システムは緊密に連携して機能します。このコンパクトな電動 SUV は、安全、スポーティ、そして快適に運転することができます。

すべての Audi Q4 e-tron バージョンには、オプションで、車高を 15mm 下げるスポーツサスペンションが用意されています (S line では標準装備)。さらに、異なるドライブモードを備えたオーディオドライブセレクトシステム (Sportback では標準装備)、ステアリング操舵角が大きくなるにつれて、よりダイレクトなレシオに変化するプログレッシブステアリング (quattro モデルでは標準装備) も装備することが可能です。オーディオドライブセレクトは、後輪駆動の Sportback にも搭載されています。全ラインナップにオプション設定されるダンパーコントロール (電子制御式ダンパー) は、さらに多用途なドライビング体験をもたらします。19~21 インチのホイールには、エアロデザインも含まれ、ホイールの大部分を閉じたデザインにすることにより効率の向上に貢献します。

このコンパクトな電動 SUV は、数多くの運転支援システムを搭載しています。これらのシステムには、エネルギー消費量を最適化し、予測的な運転スタイルをサポートする、プレディクティブエフィシエンシーアシストが含まれています。オプションのシステムは、他の多くの装備とともに、パッケージとして提供されます。アシストシステムのハイライトは、全速度域にわたって前後および左右方向のガイダンスを提供してドライバーを支援するアダプティブクルーズアシストです。サラウンドビューカメラは、市街地を運転するときや駐車するときに特に役立ちます。

2021 年夏に販売開始：価格とエディションモデル

Audi Q4 e-tron は 2021 年 6 月に、Q4 Sportback e-tron は夏の終わりにヨーロッパ市場で発売されます。ドイツにおける Q4 35 e-tron**のベース価格は 41,900 ユーロです。Sportback の全バージョンは、約 2,000 ユーロ高い価格に設定されます。市場導入に伴う 2 つのエディションモデル：ガイザーブルーのカラーを纏ったエレガントな「Edition One」は、ショーモデルの Q4 e-tron concept のデザインを市販モデルへと反映させたモデル、タイフーングレーのプログレッシブな「Edition One」は、その独特のスポーティでダイナミックな外観で人々を魅了します。エディションモデルと通常モデルとの価格差は、6,195 ユーロです。

持続可能性に焦点：Audi Q4 e-tron は、CO₂ ニュートラルな方法で生産

Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron は、カーボンニュートラルな方法で生産され、CO₂ の排出を回避し、最小限に抑え、避けることのできない排出量を相殺しています。ツヴィッカウの工場ではグリーン電力を使用していますが、バッテリーセルのサプライヤーも、生産プロセスでグリーン電力のみを使用する必要があります。現時点で回避できない排出量は、ドイツ技術検査協会 (TÜV) によって認定された気候保護プロジェクトによって相殺されます。これらは、国際環境 NGO の世界自然保護基金であるゴールドスタンダード (Gold Standard Foundation) の厳格な要件を満たしています。

アウディはサプライヤーとともに、すべての車両プロジェクトで責任を持って行動することに、体系的に取り組んでいます。アウディは、2017 年以来、資源を節約する生産プロセスと社会的基準を確実に遵守するために独自に開発した持続可能性基準を策定して、パートナー企業を評価しています。



仕様とスペック

Audi Q4 e-tron および Q4 Sportback e-tron

ポジショニング、エクステリアデザイン、ライティングテクノロジー

- アウディが提唱するプレミアムな e モビリティの世界へと誘う魅力的なエントリーモデル。コンパクトセグメントへ参入する初の市販モデルであり、アウディの電動化戦略にとってきわめて重要なモデル。
- 高い位置に伸びたフロントエンド、力強いボディ、そして表情豊かなリヤエンド。精密なライン、無駄な装飾を排したクリアな表面処理、短いフロントオーバーハング、大径ホイール。
- ダイナミックなルーフライン、スポイラー、分割式リヤウィンドーを備えた Q4 Sportback e-tron。
- アウディの高度な金型技術が、シートメタルから洗練されたデザインを創出。
- シングルフレームとリヤバンパーに施された e-tron エンボス加工。
- 両モデルに、8 種類のボディカラーと 3 種類のエクステリアトリム（ベーシック、アドバンスト、S ライン）を設定
- オプションのマトリクス LED ヘッドライト、4 種類のライティングシグネチャーを選択可能な世界初のデイトタイムランニングライト、左右のテールライトを接続するリヤライトストリップ。

日常ユースにおける利便性

- 駆動バージョンとバッテリー容量に応じて、最大 520km の航続距離（WLTP サイクル）を実現。出力 125kW の直流急速充電（HPC）を使用すると、わずか約 10 分の充電で、理想的な条件下で最大 130km（WLTP）の走行が可能（Q4 40 e-tron）。
- 最大 11kW の出力で交流充電が可能。
- e-tron 充電サービスは、1 枚のカードさえあれば、急速充電が可能な 4,400 のステーションを含む、ヨーロッパの約 21 万カ所の充電ステーションを利用可能。
- myAudi app を使用することにより、スマートフォン経由で、充電プロセスや空調コントロールを操作可能。
- 革新的なパッケージ：4.59m の全長に対して 2.76m の長いホイールベース、駆動コンポーネントをコンパクトなスペースに搭載。
- 室内長はフルサイズクラスの SUV に匹敵。数多くの収納スペース（容量約 25ℓ）、リヤシートの広いニースペース、容量 520ℓ 以上のラゲッジコンパートメントを備え、Sportback は電動開閉式テールゲートを標準装備。
- Audi Q4 e-tron は、最大 75kg を積載可能なルーフレールを装備。

インテリアデザインとインテリア

- ドライバー指向の先進的なコックピット、センタートンネルのないフロア、開放感に溢れた広々とした室内、ブラックパネルとギアシフターを備えたセンターオペレーティングパネル。
- ダッシュボード用のさまざまなインレイと装飾パネル。オプションで、革新的なテクニカルファブリックを使用したインレイを装着可能（市場導入後の早い段階で選択可能）。
- スライドおよびスクロール機能、バックライト付きタッチパネルを備えた新しいステアリングホイール、今回初めてトップおよびボトムフラットのステアリングをオプション設定。



操作系および拡張現実ヘッドアップディスプレイ

- フルデジタルの操作およびディスプレイコンセプト、メーターパネルには 10.25 インチのディスプレイを標準装備、オプションで 2 つの構成レベルのオーディオバーチャルコックピットを用意。
- MMI タッチディスプレイ (10.1 インチ) を標準装備、年末までには、11.6 インチの大型ディスプレイも選択可能。
- 先進的な拡張現実ヘッドアップディスプレイ。道路に浮かぶように表示するナビゲーションシンボルにより、より分かりやすいルート案内が実現。支援システムの情報を実際の視界に重ね合わせることで、視界が悪い場合でも優れた視認性を確保。
- オプションとして、オンライン機能と日常会話に対応したボイスコントロールを用意。

インフォテインメントとコネクティビティ

- 異なるモジュールによる 3 つのレベル。MMI を標準装備、オプションで MMI plus と MMI pro を用意。
- MMI plus と MMI pro には、ナビゲーションシステムと追加の機能を装備。Audi connect オンラインサービスには、公共充電ステーションの近くを通る最適なルートを作成するインテリジェントな e-tron ルートプランナーを含む。
- オーディオスペシャリストの Sonos (ソノス) による、オプションのプレミアムサウンドシステム。Apple Car Play と Android Auto のワイヤレス接続用のオーディオスマートフォンインターフェース。

ボディとエアロダイナミクス

- パッセンジャーセルに高比率で超高張力鋼を使用したねじり剛性の高いボディ、アルミニウムを使用したハイブリッド構造のサイドシル、優れた音響快適性。
- 洗練されたエアロダイナミクスコンセプト。Cd 値 (空気抵抗係数) はわずか 0.28 (Sportback は 0.26)、電動開閉式の冷却エアインレット、立体的なホイールスポイラーを備え、フラットなパネルで覆われたアンダーボディ。
- エアロダイナミクスと空力音響学を最適化した、サイドミラーハウジング。

電気モーターと電動 quattro ドライブ

- 異なる顧客層に訴求する 3 種類の駆動バリエーション。後輪駆動のエントリーレベルに搭載される電気モーターの最高出力は 125kW (170PS)、ミッドレンジバージョンは 150kW (204PS)、トップモデルは 220kW (299PS)。リヤモーターには、優れた効率を誇る永久磁石同期モーター (PSM) を搭載。
- 電動 4 輪駆動バージョンのフロントには、オンデマンドで作動する非同期モーター (ASM) を搭載。Q4 50 e-tron quattro の 0~100km/h 加速は 6.2 秒、最高速度は 180km/h。
- コースティング (惰性走行) モードを含む、高度な効率を追求した回生コンセプト。オプションで、3 段階の回生ステージを選択可能なパドルを、ステアリングホイールに装着可能。ブレーキによる制動時またはポジション B でも回生を実施。

バッテリーとサーマルマネジメント

- 2 種類のバッテリーサイズを用意。正味エネルギー容量 52kWh (総容量 55kWh) (9 セル) および正味エネルギー容量 77kWh (総容量 82kWh) (12 セル)。
- ベースプレートを介した外部冷却によるバッテリーのアクティブサーマルマネジメント。互いに柔軟に組み合わせることができるクーラント回路。



- 特に長距離ドライブ時に効率的に室内の温度を調整することが可能な、CO₂ テクノロジー付きヒートポンプをオプション設定。

サスペンション

- バランスの取れた走行特性。駆動コンポーネントを車両中心の低い位置に搭載しているため、低重心と理想的な前後重量配分を実現。
- マクファーソンタイプフロントサスペンション、洗練された 5 リンクデザインリヤサスペンション。
- 19~21 インチホイール、一部はエアロデザインを採用。タイヤは、リヤタイヤのサイズをわずかに幅広くすることで、高い走行安定性とスポーティなフィーリングを実現。
- オプションのスポーツサスペンション (S line で標準)、プログレッシブステアリング (quattro モデルは標準)、アウディドライブセレクト (Sportback で標準)、ダンパーコントロール付きサスペンション (全モデルでオプション)。制御システム間の緊密なネットワーク。

運転支援システムおよび装備

- プレディクティブエフィシエンシーアシストを初めとする、幅広い支援システムを標準装備。
- さらにパッケージとして、アダプティブクルーズアシストやサラウンドビューカメラなどを用意。
- 2021 年 6 月にヨーロッパ市場に導入。ドイツにおけるベース価格は、Q4 e-tron が 41,900 ユーロ、Sportback は 43,900 ユーロから。
- 市場導入記念モデルとして、ガイザーブルーまたはタイフーングレーのボディカラーと専用装備を備えた、2 つの「Edition One」モデルを設定。

持続可能性

- ツヴィッカウ工場で、グリーン電力を使用してカーボンニュートラルな方法で生産。避けられない CO₂ 排出量は、ゴールドスタンダード (The Gold Standard) または検証済み炭素基準 (Verified Carbon Standard) で認定された気候保護プロジェクトにより相殺。
- 環境に優しい生産プロセスと公正な労働条件を確保するため、サプライヤーの持続可能性評価を義務化。
- オプションで、ペットボトルをリサイクルしたポリエステルを高い割合で含むシート地とトリムストリップを装着可能。フロアカバーやフロアマットなど、合計 27 カ所にリサイクル素材を使用。



Fuel/electric power consumption of the models named

Information depends on the equipment selected.

Audi Q4 35 e-tron

Combined electric power consumption in kWh/100 km (62.1 mi): 19.1–17.0 (WLTP);
16.7 – 15.8 (NEDC)

Combined CO₂ emissions in g/km: 0

Audi Q4 Sportback 35 e-tron

Combined electric power consumption in kWh/100 km (62.1 mi): 18.6 –16.6 (WLTP);
16.6 – 15.6 (NEDC)

Combined CO₂ emissions in g/km: 0

Audi Q4 40 e-tron

Combined electric power consumption in kWh/100 km (62.1 mi): 19.3–17.3 (WLTP);
17.3 – 16.3 (NEDC)

Combined CO₂ emissions in g/km: 0

Audi Q4 50 e-tron quattro

Combined electric power consumption in kWh/100 km (62.1 mi): 19.9 –17.9 (WLTP);
17.8 – 16.5 (NEDC)

Combined CO₂ emissions in g/km: 0

Audi Q4 Sportback 50 e-tron quattro

Combined electric power consumption in kWh/100 km (62.1 mi): 20.9 –17.6 (WLTP);
17.9 – 16.4 (NEDC)

Combined CO₂ emissions in g/km: 0